



2026年8月7日

各 位

会 社 名 富 士 ダ イ ス 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 津 田 雅 宣
(コード番号：6167 プライム市場)
問 合 せ 先 取締役業務本部長 高 安 真 生
(TEL. 03-3759-7182)

2027年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日に「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました2027年3月期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年3月期の連結業績予想

(1) 2027年3月期第2四半期(中間期) 連結業績予想(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	390	420	280	14.30
今回発表予想(B)	11,200	930	960	670	34.22
増減額(B-A)	△800	540	540	390	
増減率(%)	△6.7	38.5	28.6	39.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2026年3月期第2四半期)	8,417	322	306	196	9.88

(2) 2027年3月期通期 連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	700	780	520	26.56
今回発表予想(B)	24,400	840	920	620	31.67
増減額(B-A)	△1,600	140	140	100	
増減率(%)	△6.2	20.0	17.9	19.2	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	17,446	822	883	573	29.03

2. 2027年3月期第2四半期(中間期)及び2027年3月期通期の連結業績予想の修正理由

2027年3月期第2四半期(中間期)及び2027年3月期通期の連結売上高につきましては、海外市場においては原材料の高騰を受けた価格改定の効果が先行して現れ、当初想定を上回る水準で推移しております。一方、主力である国内市場においては、価格改定の売上高への反映が当初想定より遅れていることや、価格転嫁の影響により販売数量が当初の想定以上に減少していることから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の費用面におきましては、当社グループ製品の主原料であるタングステン価格は引き続き高水準で推移しておりますが、原価計算に総平均法を採用していることやスクラップ回収による原材料調達増加により製造原価への影響は当初想定よりも抑えられる見込みとなりました。

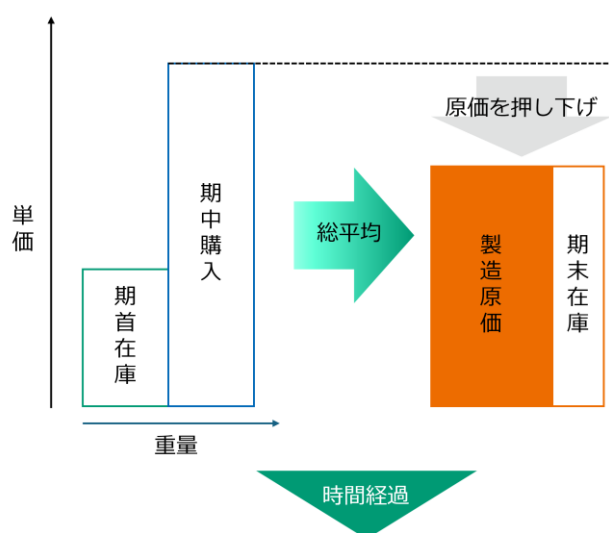
これに加え、修繕費等が想定を下回って推移する見込みであることや、国内に先行して価格改定が進展した海外市場での増収効果により、2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、2027 年 3 月期通期においても各段階利益は前回発表予想を上回る見込みですが、原材料高騰の影響が下期にかけて段階的に製造原価へ反映される見込みであること※、及び下期の原材料調達に関する施策の効果などについては状況が不透明であるため織り込まず、保守的に算定していることから、下期の各段階利益は 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の予想を下回ると見込んでおります。

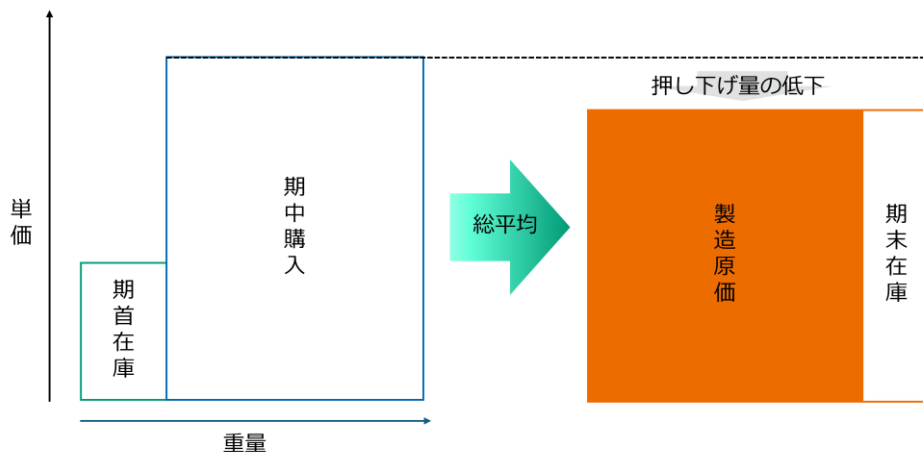
今後につきましては、原材料高騰の影響を抑制するため、ダイジェット工業株式会社との業務提携を含めた省タングステン製品の開発・拡販や、原材料の安定調達に向けたリサイクル事業の強化や調達先の複線化等の施策に引き続き取り組んでまいります。

※原材料高騰の影響が段階的に製造原価へ反映されるイメージ図

○期首に近いときの総平均法による製造原価



○期末が近づいたときの総平均法による製造原価



以 上